

ねらい・目的



【社会科として】

- ・飲料水の確保にかかわる対策や事業について、見学したり調査したりして具体的に調べ、地域の人々の健康な生活の維持に役立っていることを考えることができる。

【環境教育として】

- ・飲料水を無駄にしない工夫について具体的に考え、取り組もうとする。
- ・飲料水を支えるダムや森林の働きについて考える。

取り組みの背景として



飲み水を確保するためには、ダムを作ったり、飲めるように浄水場で処理したりしています。

よって

普段何気なく使っている水を無駄にすることは、たくさんのエネルギーを無駄にすることと同じです。

そこで

水の使い方を考え、地球にやさしい水の使い方を身に付けるようにします。

取り組み項目(実施方法)



取り組み1 学校ではどのくらいの水をつかっているのか調べよう(2時間)

学校の水道水の蛇口を調べて「蛇口マップ」をつくり、いろんなところで水が使えることを確認する場を構成する。

- ・こんなにたくさんの蛇口があるんだね。
- ・飲み水、手洗い、トイレ、プールなどたくさん水を使っているよ。
- ・学校の他に、家でも水を使っているよ。
- ・お風呂やせんとく、食事のしたくや後片付けにも水を使っているよ。



こんなにたくさんの水は、どこから送られてくるのだろう。

ポイント

実際に学校の蛇口の数調べて「蛇口マップ」に表し、たくさんの蛇口の数から様々な場での水の必要性を考えるようにするとよい。

こんなにたくさんの場所で水を使っているんだ！

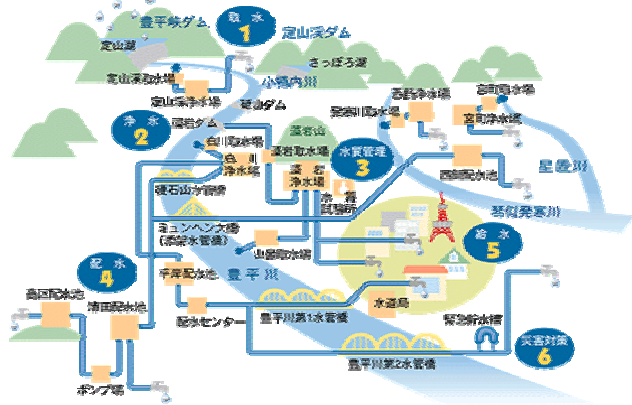
取り組み2

たくさんの水はどこから送られているのか調べよう（5時間）

自分たちの使っている水がどこから送られているのか調べる活動を構成する。

- ・もともとは雪どけ水や雨水なんだね。
- ・川の水をダムに蓄えているんだね。
- ・浄水場で水をきれいに行しているんだね。
- ・こんなに長い旅をしているんだね。
- ・川を渡って届けられる所もあるんだね。

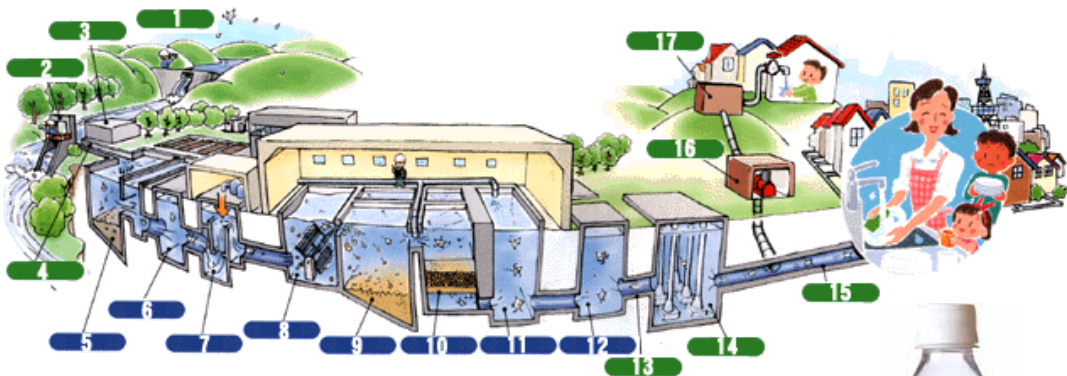
ダムや森林には、雨水をためたり、洪水を防いだりするはたらきがあることにも触れていく。



ポイント

できるだけ見学活動を取り入れて、調べるようにするとよい。

浄水場では、どのようにして水をきれいに行しているのか調べる活動を構成する。



- ・浄水場では、こんなしくみで水をきれいに行しているんだね。
- ・みんなが安心して飲めるように工夫しているんだね。
- ・浄水場の水は「さっぽろの水」として売れるくらいおいしい水なんだね。
- ・浄水場で働いている人たちのおかげだね。
- ・浄水場は水をつくる工場だね。



ポイント

- ・浄水場の見学活動を通して、実感的に学ぶようにするとよい。
- ・水道局のホームページでも詳しく解説されているので参考にするとよい。

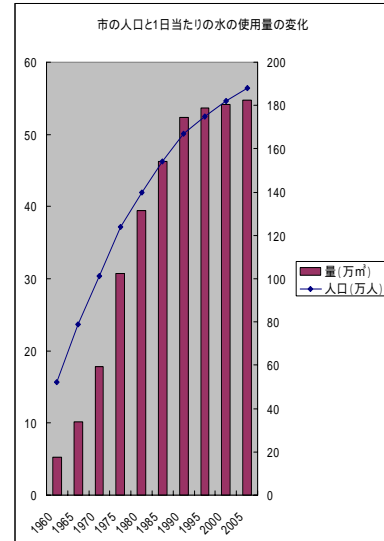
こんなふうにして水は送られてくるんだ！

取り組み3

札幌市ではどのくらいの水を使っているのだろう（1時間）

札幌市の1日あたりの水の使用量から、使用量の増加に気づき、その理由を考えるようにする活動を構成する。

- ・水の使用量がどんどん増えているよ。
- ・1995年（平成7年）から1日あたりの使用量は55万 m^3 くらいだよ。
どうしてこんなに水を使うようになったのかな。
- ・札幌に住む人が多くなったからかな。
- ・建物がいっぱい建ったからかな。
- ・生活が便利になったからかな。



ポイント

札幌市では、人口の増加や生活様式の変化、公共施設やビルの増加、まちの広がりによってたくさんの水を使っていることがわかるようにするとよい。

こんなにたくさんの水を使っているんだ！

取り組み4

こんなにたくさんの水を使っていて大丈夫なのか考えよう？（2時間）

水不足を解消するために工夫している沖縄の水タンクの資料などを提示し、水を確保することの大切さを考え、毎日の暮らしの中で自分たちにできる工夫を考える活動を構成する。

- ・水不足で困っている市や町もあるんだね。
- ・こうやって水を貯めて使っているんだね。
- ・もっと水を大切にしなければいけないね。

「沖縄の水タンク」の資料ホームページ

<http://www.reala.co.jp/miz/index.html>

- ・水を無駄遣いしない方法を考えてみよう。
 - 手洗いの時～「水を出しっぱなしにしない」
 - 髪を洗う時～「水を出しっぱなしにしない」
 - 「水の使用量が少ない洗濯機を使う」
 - 「お風呂の残り湯で洗濯するようにする」
 - 「トイレの水は1回だけにする」
- ・こんなことに気をつけて暮らし方を工夫すれば、水の使用量をへらせるね。



ポイント

水不足の実情から、水を確保することの大切さを実感的にとらえるようにして、自分の生活の中でできる工夫を考えるようにするとよい。

水は大切に使わないといけないんだ！

取り組み効果



効果 1 水を確保するしくみがわかる

水の使用量が増えているが、どのように水を確保しているのか知ることができる。

効果 2 水を無駄に使わない方法を考える

子どもが水を無駄に使わない方法を考えることで、少しでも家庭での実践につなげていくとともに、将来的に子どもたちが社会の中での実践者となるような資質を身に付ける。

効果 3 水を確保するための森林のはたらきを知る

水を確保するために森林が果たす役割や働きを知り、それらを守ることの大切さがわかる。

他のプログラムとのつながり



生き物と環境（小学校編）

小学校で学んだ環境保全活動を整理し、自分たちで考えをまとめる。

地球にやさしい調理実習をしよう（小学校編）

食材の購入から、調理、後片づけなど調理実習の中で環境にやさしい取り組みについて考える。

目ざせ！エコライフスクール（小学校編）

エコライフレポートを活用して、学校全体でエコ行動に取り組む。

総合的環境副教材

3・4年生用 2 わたしたちのくらしと水

参考資料等



1 「札幌市の水道」のことがわかる札幌の水道のホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/suido/>

2 「川やダム」のことがわかるホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/>